

川島小学校・くぬぎ台小学校 小規模校対策検討委員会ニュース

発行日：平成23年8月29日
 発行：検討委員会事務局
第2回検討委員会 開催
 ☆平成23年8月5日(金)19時00分から
 西谷中学校・会議室にて
 検討委員33名中25名出席

第2回検討委員会
 「議題」

(1)くぬぎ台小学校保護者アンケートの結果報告について
 (2)川島小学校・くぬぎ台小学校の小規模校対策について
 ●川島小学校・くぬぎ台小学校の児童数推移見込みについて
 ●学区変更による小規模校の解消について
 (3)小規模校対策の方向性について
 (4)第3回検討委員会の検討内容について



確認・決定事項

○くぬぎ台小学校を学区変更により適正規模校（12～24学級）にすることは非常に困難であることを確認しました。
 ○小規模校対策の方向性について検討を行い、**川島小学校・くぬぎ台小学校の統合を前提として今後の検討委員会を進めていくことを確認**しました。
 ○第3回検討委員会は、両校の施設見学を行ったあとに、引き続き開催することを決定しました。

1 くぬぎ台小学校のアンケートについて

配付126世帯 回収49世帯（6月29日配付 7月4日提出締切）

- 子どもの学年（複数回答・無回答有）
 1年：12 2年：9 3年：9 4年：8 5年：8 6年：8
- 統合には賛成ですか・反対ですか
 賛成：18 反対：25 その他：5 未記入：1
- 賛成意見より
 ・親子ともに大勢の人とかかわることは必要だと思う。・今のままがいいと思うけれども前向きに考えようと思う。・新しい出会いに期待している。・このままだと競争心が芽生えない。・クラス編成はあったほうがいい。
- 反対、その他意見より
 ・少人数で今まできたので心配。・児童が多いと一人ひとりに先生目が行き届かなくなりそう。・母校がなくなるとさびしい。・子どもたちの精神的ストレスが心配。・現状維持を希望する。
- 賛成、反対共通意見
 ・校舎がくぬぎ台なら統合に賛成してもいい。くぬぎ台小の先生を新しい小学校に配置してほしい。
 ・学区の見直しまたは学校選択。
 ・通学路が心配。 → **通学路についての意見、要望**
- その他の意見
 ・2校だけでなく同じ中学校区内での小学校の学区の見直し、（または隣接する区を含む）広い範囲での学区の見直し。・PTAの委員会活動などの保護者の負担が大きい。・定期的に近所の小学校と交流授業や交流行事を行い競争心を高める。・今現在通っている児童はくぬぎ台小学校を卒業したい。
- 教育委員会への要望
 ・統合校のメリットばかり説明されていたが、デメリットがあれば教えてほしい。
 ・統合後問題が起こった場合、教育委員会はどのように責任を取るつもりなのか。

歩道の整備、集団下校の実施、木の伐採、登下校時の車両通行止め、街路灯の増設、

回答は裏面

【教育委員会からの回答】

下の表は、統合校の校長ヒアリングや教職員・保護者を対象に実施したアンケートによる、統合時の課題・問題点とその解決策・改善案となります。

また、学校統合になった場合、今までの事例から様々な課題問題が発生する可能性があると考えています。その課題問題を解消するために今までの経験を活かして教育委員会全体で統合校に対する支援を真摯に取り組んでいきたいと考えています。

統合校の課題・問題点	解決策・改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域が拡大し通学時間、通学距離が延びたことによる登下校への不安 ・通学安全面で不安な場所があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路についての検討、安全対策 ・学年始めや長期休暇後に集団登校を実施 ・保護者や地域（見守り隊等）の協力を得て、下校パトロールを実施
<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状況を把握しにくくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士の生徒の情報交換を密にする
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の心の問題、ストレス ・新しい人間関係の構築 ・高学年ほど精神的な負担が大きくなりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合前に児童・生徒、職員の交流を図る ・安心して学校生活を送ることのできる環境の提供（相談員の配置や各学年に旧校職員を配置）

2 川島小学校・くぬぎ台小学校の小規模校対策について

川島小学校・くぬぎ台小学校の児童数の推移見込みについて

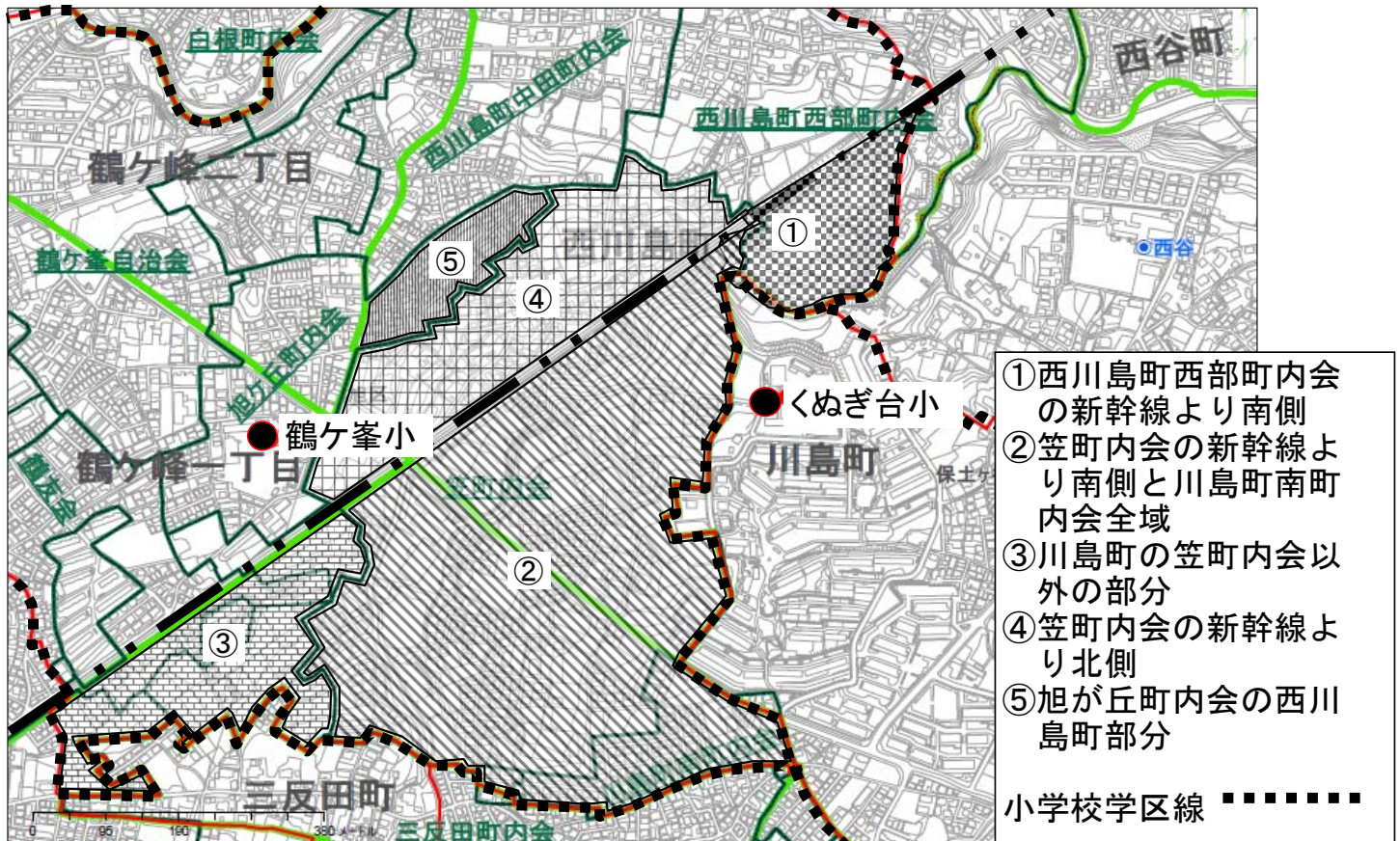
学校名		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	保有普通教室
川島小学校	H22推計児童数	384	366	335	325	322	314	314		18
	H23推計児童数		364	331	317	307	293	294	286	
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	

学校名		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	保有普通教室
くぬぎ台小学校	H22推計児童数	153	150	138	139	144	136	134		13
	H23推計児童数		152	138	138	144	136	132	131	
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	

学区変更による小規模校の解消について

川島小学校・市沢小学校は、くぬぎ台小学校に学区変更した場合、それぞれの小学校が小規模校になってしまいます。また、鶴ヶ峯小学校の学区を変更してくぬぎ台小学校を適正規模化するためには隣接する町内会だけでは足りず、広範囲を学区変更しなければならないため、学区変更で対応することは難しい状況にあります。

◎くぬぎ台小学校に鶴ヶ峯小学校学区を学区変更した場合について



くぬぎ台小学校に
鶴ヶ峯小学校の
①～⑤の学区を
平成25年度から
学区変更した場合の
児童数・学級数

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
くぬぎ台小学校 +①②	児童数	184	194	189	179	184
	学級数	6	7	7	6	6
くぬぎ台小学校 +①②③	児童数	208	219	219	212	217
	学級数	7	7	8	7	8
くぬぎ台小学校 +①②③④	児童数	226	240	247	241	245
	学級数	7	7	8	9	9
くぬぎ台小学校 +①②③④⑤	児童数	267	283	291	288	293
	学級数	10	11	11	12	12

小規模校対策の方向性について

今までの資料のとおり、学区変更による小規模校解消は難しい状況にあることを確認しました。



川島小学校とくぬぎ台小学校について、
統合を前提として今後の検討委員会を進めていくことを確認しました。

○ 検討委員会での主な質問・発言

Q：この「検討委員会ニュース」は各家庭に配られているのか？

A：川島小・くぬぎ台小の保護者と学区の全戸に配布されています。

Q：通学安全面の解決策について、例えば道路を作り直したとかの事例はあるのか？

A：今までは統合前に、想定する通学路を検討委員会で安全面の確認をしていただいています。その中で通学安全についての要望をとりまとめて、関係部署（区の土木事務所、警察等）に要望書という形で提出しています。従来の例では、「道路をカラー舗装にする」「通学路であることがわかる表示をする」「速度制限下げる」等の要望をして、一部実現したものもあれば、警察の予算の関係等で実現しなかったものもあります。
《鈴木委員長》ハード面での整備も必要だが、ソフト面では地域で協働して安全確保を図る必要があると思います。そのようなことも念頭において地域で支えあっていくことが大切だと思います。

Q：過去に実際に行われた対応策の内容は、ホームページで見ることができるのか？

A：ホームページには掲載していないので、必要があれば検討委員会でご提示いたします。

Q：低学年など、くぬぎ台小に通学しているかと思っていたら、市沢小や鶴ヶ峯小に入学している。昔は学区がしっかり守られていた。今となっては難しいかもしれないが、学区をある程度守ることも必要だったのではないかと思う。

A：横浜市は通学区域制度を採用しており、基本的には指定された学校にしか行けません。指定校以外に行っているということであれば、おそらく指定地区外就学許可制度を利用していると思われる。一定の条件を満たすことが前提で学校長が許可を出しています。

Q：学校へ通う距離はかなり遠くなる場合があるが、目安はあるか？また距離は直線か？

A：基本方針の中でおおよその目安として定めています。小学校は片道実測でおおむね2kmということになっています。

Q：人数は40人学級で試算されているか？今は1年生だけだが、将来6年生まで35人学級になったときの試算はされているのか？

A：現在は1年生のみ35人学級で試算しています。今後他学年に35人学級が拡大するのかわかりませんが、仮に6年生まで35人学級になったとしても、学級数は大きく変わりません。

Q：今回少子化の対策を検討委員会で検討しているが、今後はどこの学校でも統合という話が出てくると思う。統合を進めていくと、片道2kmを超えるような学区の子どもも出てくるのではないか。今回くぬぎ台小と川島小で統合したとしても、今後、11学級になった時にまた統合するのか。平成16年度から統合を進めているそうだが、その時は統合が一番いいと思ったのか、学区の見直しを市全体でやることは考えなかったのか。

A：場合によっては統合を繰り返すケースも出てくると思いますが、そうすると学区がかなり広くなって通学距離や時間がかかるようになってしまいます。当然、統合するにあたっては周辺の学校との学区を調整し、片道2kmを超えないような学区を検討してまいります。それでも超えてしまうようであれば、例えば通学支援策（スクールバスの運行、公共交通機関の使用等）を行うことも検討してまいります。

Q：川島小がこれからアンケートをとるということになっているが、そのアンケート結果を踏まえて学校統合の方向性についての結論を出した方がいいのではないか。

A：《三村副委員長（川島小PTA会長）》川島小では、小規模校対策に対応したアンケートにしたいと考えています。検討委員会で議論された意見や方向性をふまえた上で、「どのような要望があるのか」、「どのようにしたら心配な点や不安点を改善していけるのか」といった具体的な形で実施する予定です。

Q：今回統合を実施した場合、学区を見直すことで、一部の地域が他の小学校に行くということもあり得るのか？

A：今までの事例では、統合するという方向性が決まったら、様々な調整をしなければならない地域が出てきます。周辺校との学区の見直しを検討委員会の中で検討して決めていくこととなります。

《鈴木委員長》様々な家庭の事情などの問題も出てくるので、柔軟に検討していかなくてはならないと思います。一定の要件を緩和して認めていくことも必要だと思います。

Q：設置要綱には「庶務」を「学校計画課」で処理するとなっているが、事務局の設置について書かれていないが、いつのまにか事務局ができています。どうなっているのか？

A：教育委員会事務局学校計画課が、検討委員会の事務局として庶務事務を担当するということになります。

Q：基本方針には、統合の方法として「保護者・地域住民の理解と協力を得られるよう小規模校再編検討委員会（仮称）を設置し、十分調整をする」とある。教育委員会では、この検討委員会を設置したということは、基本方針によると統合ありきなのではないか？ そうだとすれば、統合を前提として議論をした方がいいのではないか。

A：基本方針ではその前段として、通学区域の変更・弾力化等が実施できない場合や実施によっても小規模校が解消しない場合について、統合の検討を進めるということになっています。今回の検討委員会については、この前段から検討を行っていただいております、従来から説明していたとおり、統合ありきというわけではありません。

Q：学校の構造は鉄筋コンクリートとなっているが、在来工法（現場でコンクリートを流し込み、柱等の構造部材を構築する）・PC工法（工場で柱等の構造部材を制作し、現場で組み立てる）のどちらなのか？

A：両校とも在来工法で建てられています。

Q：3回目の検討委員会での検討予定内容に「統合の時期」とあるが、今まではみな検討委員会を設置してから統合まで2年ということになっているが、他の意見があっても通るのか？

A：円滑な統合を目指す意味で、関係校の間で子ども・教職員・保護者が交流する期間が一定期間必要だと考えています。今までの例に拘束されることなく、検討委員会で検討して決めていただきたいと思います。

《鈴木委員長》子どものメンタルケアも含め相互交流により自然になじんでいく期間が必要だと思います。

第1回検討委員会以降にお寄せいただきましたご質問等について

〇ご質問

★（保護者説明会の）質疑応答の中で、今まではどの学校も統合まで最短で2年との回答がありましたが、これまでに2年以上かかって統合された学校はあるのでしょうか。

→ 横浜市教育委員会では、平成18年度以降、小学校20校を9校に、中学校2校を1校に統合しています。統合の時期についても検討委員会で検討していただいた結果、今までのすべての統合校は、検討委員会を設置した翌々年の4月に開校しました。

★ メールやFAXでの問い合わせについて、検討委員会で報告や議論はされるのでしょうか。また、その結果は検討委員会ニュースに載るのでしょうか。

→ 検討委員会事務局にお寄せいただいた問い合わせやご意見等につきましては、検討委員会に報告し、検討が必要な事項について議論していただいております。また、「検討委員会ニュース」にも掲載いたします。

★ 今回の川島小学校とくぬぎ台小学校について両校は同じ立場なのでしょうか。また、統合についてはどのような状況なのでしょうか。

→ 川島小学校・くぬぎ台小学校ともに小規模化が進むことで、様々な問題を抱えていますが、その諸問題の解消及び教育環境の向上について検討するために検討委員会を設置し、学校統合も含め白紙の状態での検討が始まりました。

★ 川島小学校ではアンケートは行わないのでしょうか。

→ 川島小学校のPTA会長に確認したところ、今後実施する予定とのことでした。

★ 検討委員会の出欠について検討委員会ニュースに載らないのでしょうか。

→ 検討委員会の出欠については検討委員会で議論していただき、検討委員の出席の人数について今後「検討委員会ニュース」に掲載することとなりました。

【次回の施設見学と第3回検討委員会の日程】

★平成23年9月24日（土）両校の施設見学 13時30分より

★第3回検討委員会 15時30分頃より くぬぎ台小学校コミュニティハウスにて

（検討予定内容）

1. 統合校の設置場所（施設）について
2. 統合校の統合時期について
3. 統合校の通学区域について
4. 統合校の校名について
5. その他



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

・「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会では、常に皆さまからのご意見を受付しております。FAXかEメールにて、事務局（学校計画課）までご連絡ください。

*「川島小学校・くぬぎ台小学校」

小規模校対策検討委員会事務局（学校計画課）

TEL:045-671-3252 FAX:045-651-1417

Eメール: ky-hodogaya@city.yokohama.jp

